



しゅうらくかつどうせんたーゆすはらにしすいしんいんかい

集落活動センターゆすはら西推進委員会

～地域で取組む捕獲鳥獣をお金に換える仕組み～



新設した解体処理施設と日本初導入ジビエカー



「ゆすはらジビエ」が広がっています

経緯

- 鳥獣駆除に迫られる猟師の意欲減退や担い手が少なくなっている現状、さらには、このままでは先人から引き継いだ農地や森林を守っていけないという危機感から、駆除から産業への転換を図り、人も物もお金も循環する活力ある地域づくりを目指してNPO法人を設立し活動を開始した。

取組内容

- 獣肉解体処理施設の建設とジビエカーの導入（平成29年度）
- 上記の運営者となる特定非営利活動法人ゆすはら西を設立（平成30年3月）
- 鹿の捕獲は多いが町中心部から遠い松原区を中心にジビエカーを運用することで、解体処理施設への円滑な搬入を実施。
- 元ゆすはら応援隊員や移住者等の担い手人材を雇用（平成30年4月）

活動の効果

- 獣肉解体処理施設稼働1年目にして搬入計画頭数を達成し、ジビエの安定的な供給を強みとして販路拡大につなげている。
- 自立を目指し自分たち自身が動かなければという思いで取り組んだことが評価され、自分たちの気づきや自信につながった。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後は取り組みを子供たちの食育へ、そして将来の担い手の育成へ、さらには地域内外の交流の場の創出へとつなげていきます。